◇◆ほっかいどう防災教育協働ネットワーク◆◇

～メールマガジン第３１号（平成２９年１月２６日発行）～

****

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◆　ＩＮＤＥＸ　◆◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

【１】トピックス

・厳冬期避難所展開・宿泊演習２０１７に参加しました！

【２】イベントピックアップ

・【札幌市】ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会（１／３０～３１）

・【神恵内村】防災講演会「北海道の地震・津波対策」（２／１）

・【三笠市】冬季防災訓練（２／１８・１９）

・【札幌市】「札幌圏での大規模災害対策を学び、考える」連続セミナー第３回（２／２３）

【３】日本全国！ぼうさいの取組紹介！

・平成２８年度 防災アプリ大賞が決定されました

【４】ネットワークへようこそ！

・１月２５日（水）現在　９４（３０個人・６４団体）

・棟方英雄さん

****

【１】トピックス

■厳冬期避難所展開・宿泊演習２０１７に参加しました！

「冬の災害から命を守る」をテーマに、１月１４日（土）から１５日（日）にかけて、北見市にある日本赤十字北海道看護大において、「厳冬期避難所展開・宿泊演習２０１７」が実施されました。

自治体の防災担当者、看護師、保健師、報道関係者など計約１３０人が参加し、完全停電という設定の中、冬期に災害が生じた際の避難所生活を体験しました。

当日は、屋外での薪ストーブの設営から始まり、屋内トイレ（ラップポン）の設営、体育館において照明機器の設置、暖房シェルター・ダンボールベッドの設営、ハイゼックスシートを用いた炊き出しなど、多岐にわたる演習を行いました。

また、外気温氷点下１４度の中、暴風雪による車内閉じ込めを想定した車両滞在演習や、北海道版避難所運営ゲーム「Ｄｏはぐ」による演習が行われました。

夜間の体育館の室温は約１～４度と、一晩滞在するには厳しい条件でしたが、組み立てたダンボールベットの上で寝袋を使用することにより、寒さを凌ぎ、就寝することができました。

各演習において、参加者同士で相談・役割分担しながら協力して避難所を展開することができ、厳冬期における厳しい避難所での生活を実感するとともに、実践に非常に役立つ演習となりました。

****

【２】イベントピックアップ

１月～２月の防災イベントを紹介！

【札幌市】ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会（１／３０～３１）

北海道内では、人口が減少し子どもの数が減る一方、高齢化が進んだ集落が増えてきています。道では、こうした集落で安心して暮らし続けるために必要なことを道民の皆さんと考え、親交を深める交流大会を開催します。

３回目となる今回は、２日目（３１日）の「防災」をテーマとする分科会も設け、本ネットワーク会員であるＮＰＯ法人フューチャー北海道の櫻木正彦さんに講師をお引き受け頂きました。

これから非常に重要なテーマとなる人口減少下での防災。ぜひ一緒に考えてみませんか？　詳細は下記サイトをご覧ください。

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/shuuraku/kouryutaikai28.htm

【神恵内村】防災講演会「北海道の地震・津波対策」（２／１）

２月１日（水）１４時から後志管内神恵内村の役場会議室で、北海道の地震・津波対策と題して、北海道大学大学院工学研究院の岡田成幸教授による防災講演会を開催します。

北海道における地震や津波などの災害について学び、災害から身を守るため家庭でできる防災対策について学ぶ講演会となります。

どなたでも参加できますので、ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

・お問い合わせ先　神恵内村総務課総務係　０１３５－７６－５０１１

【三笠市】冬季防災訓練（２／１８・１９）

２月１８日（土）、１９日（日）の２日間で、三笠市山の手市民センターにおいて、冬季防災訓練を実施します。

地区町内会や地域防災マスターの方々を対象に、停電を想定した厳冬期の避難所訓練を初めて実施します。会場までの避難訓練や北海道電力による講演をはじめ、避難所におけるルールづくり、避難所での生活の仕方・運営、防寒対策、災害時の持出品・備蓄などについ

て学ぶ内容となっています。
　また、災害時の避難所を想定し、炊き出しやダンボールベッドの組立も行い、実際に宿泊する訓練も行います。
　・お問い合わせ先　三笠市消防本部生活安全センター　０１２６７－２－７７７７

【札幌市】「札幌圏での大規模災害対策を学び、考える」連続セミナー第３回（２／２３）
　２月２３日（木）１８時半から、札幌エルプラザ２階 環境研修室において、「札幌圏での大規模災害対策を学び、考える」連続セミナー第３回を開催します。
　連続セミナー第１回では、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）代表の栗田暢之氏を招き、台風１０号の被災地で起こっていることや JVOAD の活動についての講演がありました。第２回では札幌市の地域防災計画などについて学んだ後、参加者はグループに分かれ、どのような防災・支援活動に取り組みたいか、話し合いました。
　第３回では、これらを踏まえ、今後、北海道や札幌で大規模な災害が起こったときに自分たちは何ができるのか、また、共助や自助においてどのような「備え」を進めていくのか、災害ボランティアに関して豊富な知識と経験をお持ちの一般社団法人 WellbeDesign（ウェルビーデザイン）の篠原辰二氏を講師に迎え、さらに考えを深めていきます。
　詳細・お申し込みについては、以下のサイトをご覧ください。
　http://enavi-hokkaido.net/event/event_id/0000012367/

■その他のイベント情報はこちらから
　・ネットワークイベントカレンダー（平成２８年１１月～平成２９年３月）
　・イベントカレンダー（随時実施等）
　　http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/network/

****
【３】日本全国！ぼうさいの取組紹介！
　日本全国に視点を広げ、特色のある防災の取組を紹介します！
　皆さんが行う防災の取組の参考となれば幸いです。

■平成２８年度 防災アプリ大賞が決定されました
　国土交通省国土地理院と水管理・国土保全局では、内閣府と協力して、平成２６年度からスマートフォン等で利用できる災害時に役立つ防災アプリの普及に取り組んでおり、平成２８年度は、国土交通省が提供している「地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）」を効果的に活用した防災アプリの公募を行いました。
　学識経験者等による審査委員会では、応募のあった防災アプリのうち水害対策や防災学習への有用性等の観点から、防災アプリ大賞と４つの防災アプリ賞を決定しました。

防災アプリ大賞は、兵庫県立大学大学院の「ハザードチェッカー」が受賞しました。このアプリでは、南海トラフ巨大地震で想定される津波高や大雨による洪水で想定される浸水の深さが確認できるほか、近くにある避難所やリアルタイムの気象情報も知ることができ、各情報が地図とともに１つの画面で表示されます。

その他、オフライン前提の登山用アプリやタイムラインを学ぶ上で適切な教材となるアプリなどに防災アプリ賞を授与しました。

ご興味のある方は、以下のサイトをご覧ください。

http://www.gsi.go.jp/bousaichiri/bousaichiri60029.html

****

【４】ネットワークへようこそ！

１月２５日（水）現在のネットワーク構成員数は、９４（３０個人・６４団体）です。

http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/network/

このコーナーでは、参画いただいている皆様の横顔を順次、ご紹介していきます。

【棟方英雄さん】

石狩市在住の棟方英雄さんは、防災士・北海道地域防災マスター・石狩市防災マスターとして、石狩市民に防災意識向上等の活動を続けています。

棟方さんは石狩市の消防職員として長く活躍し、退職後は、その現場経験を活かした事をしたいと思い、「防災士」と「石狩市防災マスター」の資格を取得しました。「石狩市防災マスター」（平成２６年８月制度開始・２８名認定）は、石狩市と連携し、防災訓練の運営補助や地域の防災意識向上等の活動を行なっているほか、毎月２回程度自主研修や、自主防災組織などの防災研修・防災訓練を行っています。棟方さんはその一員として、救急救命講習やキッズ防災キャンプ等で指導を行ったり、冬季夜間避難所訓練に参加するなど精力的に活動しています。

棟方さんは、ほっかいどう防災教育協働ネットワークの参加により、正確な情報収集や情報の共有等を出来るようになりたいと思っているそうです。

****

【編集後記】

仕事をしている中で、報告したつもり、お願いしたつもりになっていて、実は相手に伝わっていなかったという場面に、たまに出会うことがあると思います。

メールなど「伝える」手段は増えていますが、相手が伝えられた情報を確認し、理解しなければ、「伝わった」とはいえないものです。

気象情報や地震・津波情報、避難情報など、命を守るために必要な情報を伝える手段は、

ここ十数年のうちに格段に増え、また情報の中身も非常にきめ細かく工夫されてきました。
　一方で、これらの情報を受け取る方の理解は同じように進んだかと問うと、まだまだ十分ではないと感じるところです。
　さまざまな防災情報を迅速に「伝える」ことはもちろんですが、地域の住民の皆さんに情報の意図が「伝わる」ようにする、送り手と受け手のギャップを埋めるためには防災教育が欠かせません。
　今年もネットワークの皆様と、北海道に必要な防災教育について様々な知恵や意見を出し合い、行動して行きたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。（博）

==========

発行：ほっかいどう防災教育協働ネットワーク事務局
（北海道総務部危機対策局危機対策課）
・最新情報発信中！フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」
https://www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku
・ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」
http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp